

「障がいのある方を理解しよう」市民向け体験講座 実施企画案

1. 趣旨

平成28年4月に通称「習志野市心が通うまちづくり条例」が施行されました。本条例は障がいの有無にかかわらず、すべての市民が互いに尊重し、支えあいながら生きる社会を実現することを目指しています。

本講座は、障がいのある人の情報やコミュニケーションを保障し、全ての市民が支えあうまちづくりを促進するため、市民等を対象として、障がい及び障がいの特性を理解することを目的に開催しています。

2. 講座内容

実際に車いすを体験することで、車いすの特徴や、生活部分における困難さについて、理解する講座です。

～2つのバスケットボールを体験しよう！～	
講演	「車いすバスケットボール選手によるトークショー」
体験	千葉ホークスの選手による車いすバスケットボール体験 千葉ジェッツふなばしアカデミースタッフによるバスケットボール体験
講師	千葉ホークス選手 ※1 千葉ジェッツふなばし アカデミースタッフ ※2
日時	令和元年9月7日（土） 13:30～16:15（受付は13:00～13:30）
場所	東部体育館（東習志野3-4-5）
対象者	市民及び在勤・在学者
定員	体験者 70名（先着順） ※見学自由ですが、申込が必要です
申込み	8月1日（木）～8月23日（金）

※1 千葉ホークス

パラリンピック東京大会以降、障害者スポーツの普及が少しずつ広まりを見せている中、昭和44年に労働災害者の訓練施設（白子作業所）で「千葉作業所チーム」として誕生した。

創部当時より練習量の多さと、その厳しさはとて有名で、当時より優秀な成績を数多く残しながら、絶えず日本の車いすバスケットボール界をリードしてきた名門チームである。

昭和60年に活動拠点を千葉市内に移し、チーム名も現在の「千葉ホークス」に改称された。

パラリンピックや国際戦にも多くの全日本代表選手が選出されている。（千葉ホークスHPより引用）

※2 千葉ジェッツふなばし

2010年に「千葉ジェッツ」としてbjリーグに参入、2013年には一般社団法人日本バスケットボールリーグ（NBL）に正式に移籍した。2016年より始まった新リーグ（B. LEAGUE）に参入しており、船橋市をホームタウンとして活動している。

2017年には「千葉ジェッツふなばし」へチーム名を変更し、第92回天皇杯全日本総合バスケットボール選手権大会で初優勝を飾る輝かしい成績を残しており、多くの全日本代表選手も選出されている。

（千葉ジェッツふなばし HP 参照）